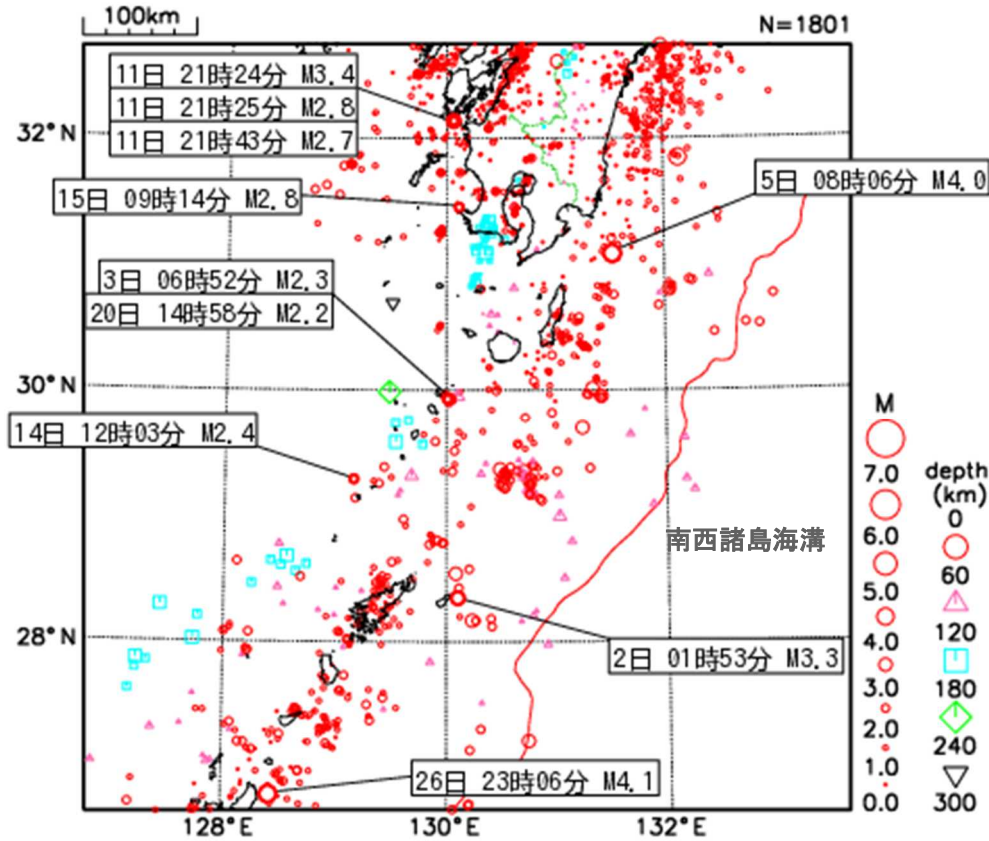


鹿児島県の地震活動概況（2024年1月）

令和6年2月13日
鹿児島地方気象台

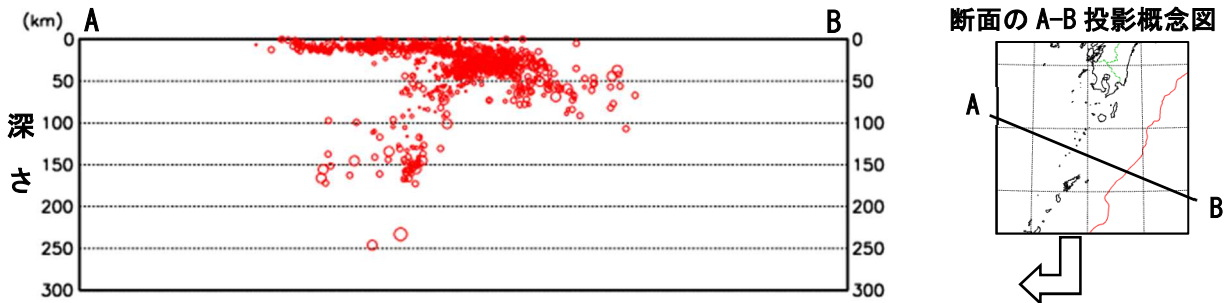
概要

2024年1月に鹿児島県内の震度観測点で震度1以上を観測した地震の回数は11回（震央分布図描画領域範囲外の地震1回含む）でした（2023年12月は31回）。



震央分布図 (2024年1月1日～31日、深さ0～300 km、M0.0以上)

地震の規模 (マグニチュード M) は記号の大きさで、震源の深さを記号と色で示しています。
図中の枠内は、県内で最大震度1以上を観測した地震の発生日時とマグニチュード (M) を示しています。
1日16時10分の「令和6年能登半島地震」は、震央分布図描画領域範囲外です。



断面図 (右図の A-B 投影、深さ 300 km 以浅)

本資料は、国立研究開発法人防災科学技術研究所、北海道大学、弘前大学、東北大学、東京大学、名古屋大学、京都大学、高知大学、九州大学、鹿児島大学、国立研究開発法人産業技術総合研究所、国土地理院、国立研究開発法人海洋研究開発機構、公益財団法人地震予知総合研究振興会、青森県、東京都、静岡県、神奈川県温泉地学研究所及び気象庁のデータを用いて作成しています。また、2016年熊本地震合同観測グループのオンライン臨時観測点 (河原、熊野座)、2022年能登半島における合同地震観測グループによるオンライン臨時観測点 (よしが浦温泉、飯田小学校)、米国大学間地震学研究連合 (IRIS) の観測点 (台北、玉峰、寧安橋、玉里、台東) のデータを用いて作成しています。

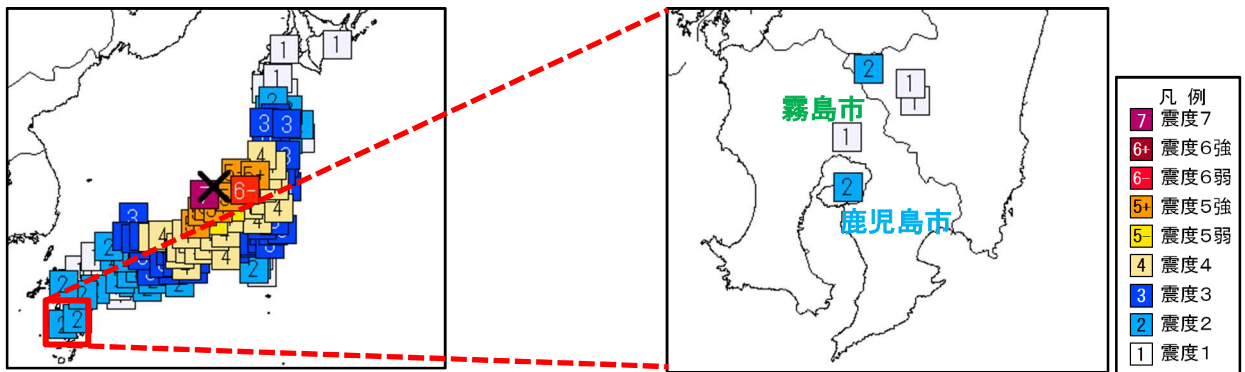
「令和6年能登半島地震」(1ページ震央分布図描画領域範囲外)

1日16時10分に石川県能登地方で発生したM7.6の地震(深さ16km)により、石川県の輪島市、志賀町で震度7を観測したほか、北陸地方を中心に北海道から九州地方にかけて震度6強～1を観測しました。県内では、鹿児島市で震度2、霧島市で震度1を観測しました。この地震に伴い気象庁は石川県能登に大津波警報を発表したほか、北海道から九州地方にかけての日本海沿岸を中心に津波警報・津波注意報を発表しました。九州・山口県では、山口県日本海沿岸、福岡県日本海沿岸、佐賀県北部、壱岐・対馬に津波注意報を発表しました。

この地震により、石川県の金沢で80cm、山形県の酒田で0.8m(注1)の津波を観測するなど、北海道から九州地方にかけて、日本海沿岸を中心に広い範囲で津波を観測しました(県内で、津波の観測はありませんでした)。

(注1) 巨大津波観測計による観測のため、観測単位は0.1m。

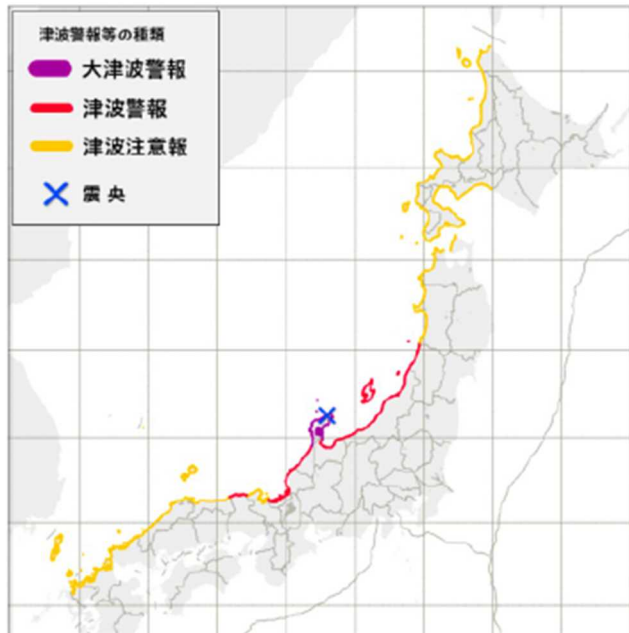
※気象庁では、石川県能登地方で発生している一連の地震活動について、その名称を「令和6年能登半島地震」と決めました。



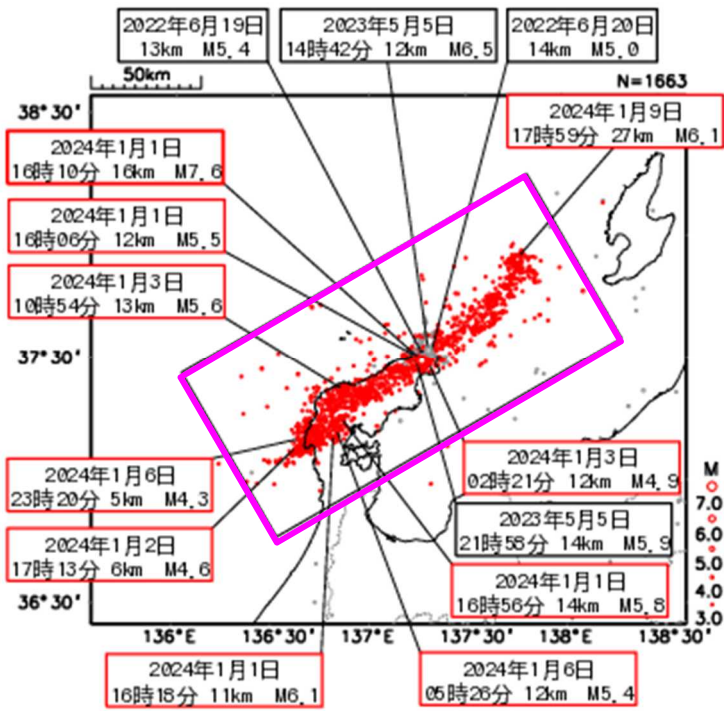
震度分布図 (左図: 地域別、右図: 観測点別、×: 震央)

1日16時10分 M7.6
 1日16時10分 M5.9※
 1日16時10分 M-.-※ (-は値が決定できないことを示す。)

※この地震については、近接した場所でほぼ同時に地震が発生したため、観測された震度がどの地震によるものか特定できませんでした。



上図は、2024年1月1日16時10分の石川県能登地方の地震(M7.6)に対して発表した大津波警報、津波警報および津波注意報

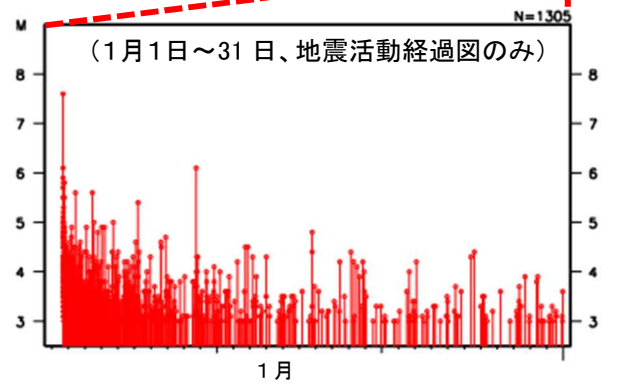
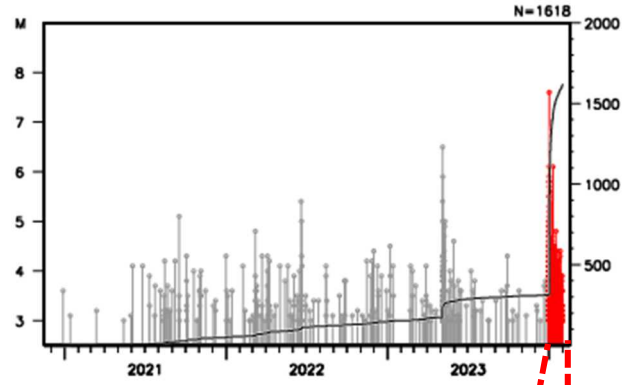


震央分布図

(2020年12月1日～2024年1月31日、
深さ0～30km、M3.0以上)

※赤色は2024年1月に発生した地震

※吹き出しは最大震度5強以上の地震または、
M6.0以上発生した地震

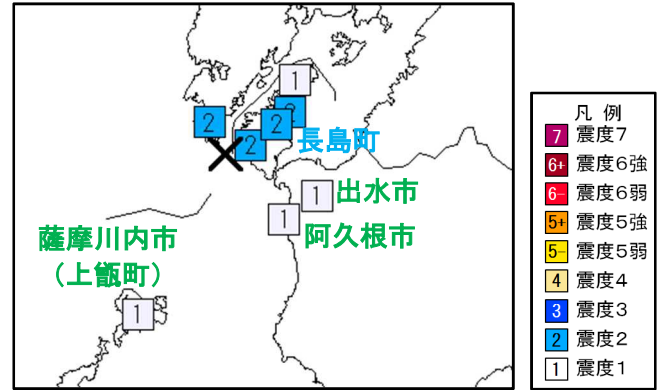


左図矩形領域内の地震活動経過図
および回数積算図

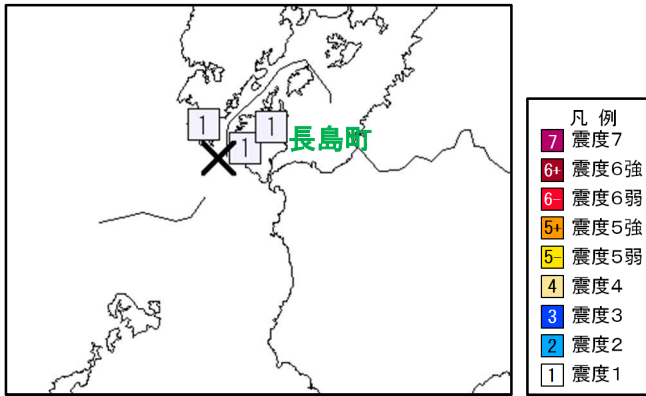
天草灘

11日21時24分に発生した M3.4の地震（深さ10km）により、長島町、熊本県天草市で震度2を観測したほか、阿久根市、出水市、薩摩川内市（上甑町）で震度1を観測しました。また同じ場所で同日21時25分に発生した M2.8の地震（深さ9km）と、21時43分に発生した M2.7の地震（深さ9km）により、県内では、共に長島町で震度1を観測しました。

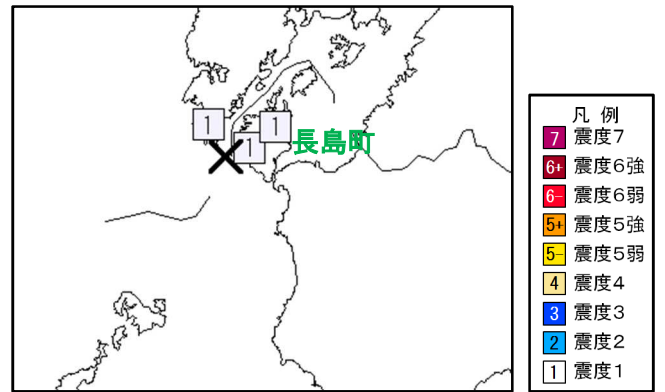
これらの地震の震源付近（震央分布図矩形領域）は、時々まとまった地震活動が見られる領域で、2022年8月26日に発生した M4.5の地震（深さ12km）と、更に過去には、2012年8月17日に発生した M4.9の地震（深さ10km）により、県内では共に長島町で震度4を観測しています。



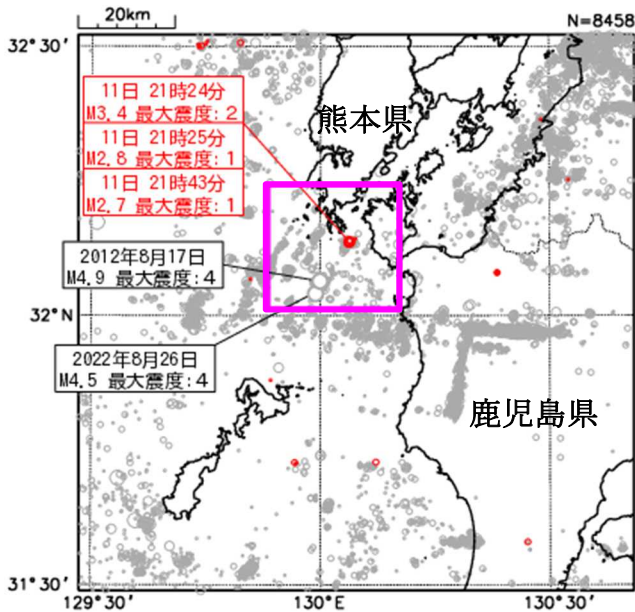
震度分布図（観測点別、×：震央）
11日21時24分 M3.4



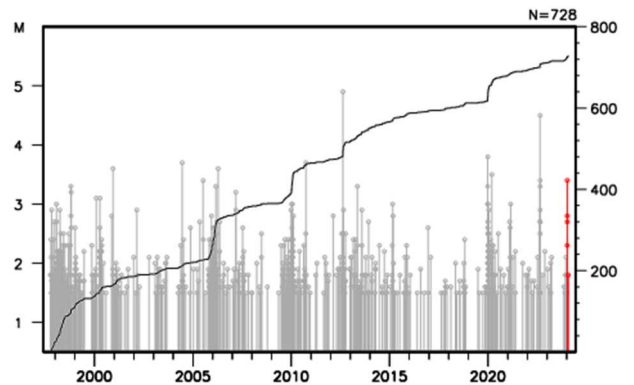
震度分布図（観測点別、×：震央）
11日21時25分 M2.8



震度分布図（観測点別、×：震央）
11日21時43分 M2.7



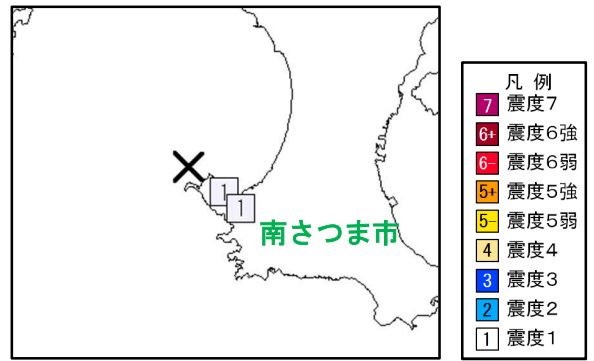
震央分布図
(1997年10月1日~2024年1月31日、
深さ0~20km、M1.5以上)
赤色は2024年1月に発生した地震



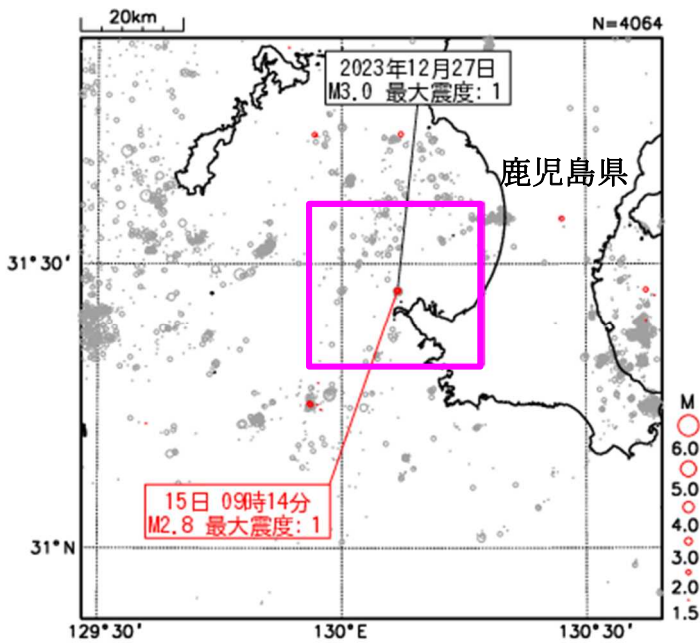
左図矩形領域内の地震活動経過図
および回数積算図

薩摩半島西方沖

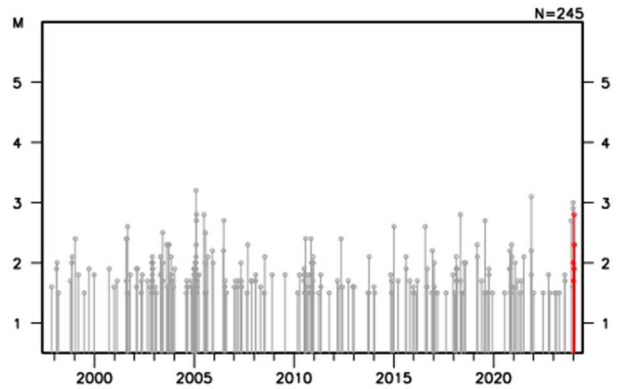
15日09時14分に発生した M2.8の地震（深さ4 km）により、南さつま市で震度1を観測しました。
 この地震の震源付近（震央分布図矩形領域）では、2023年12月27日に発生した M3.0の地震（深さ4 km）により、鹿児島市と南さつま市で震度1を観測しています。



震度分布図 (観測点別、×:震央)
15日09時14分 M2.8



震央分布図
(1997年10月1日~2024年1月31日、
深さ0~20km、M1.5以上)
赤色は2024年1月に発生した地震

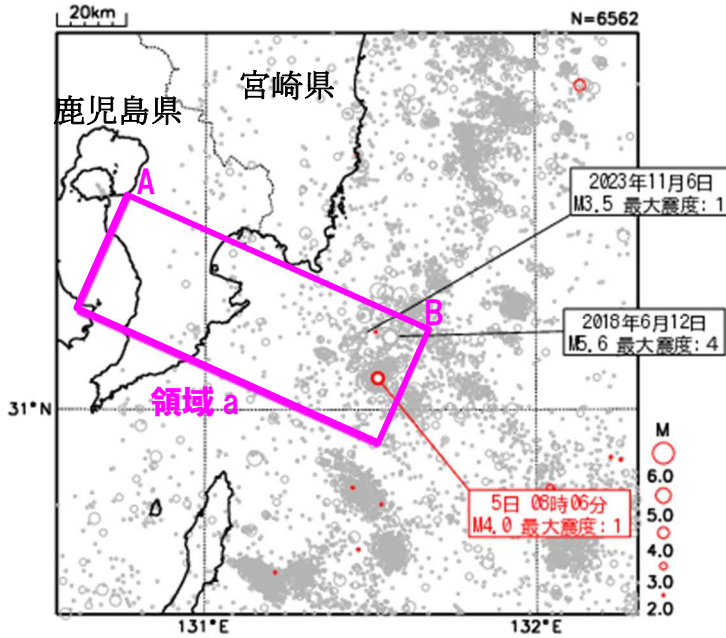
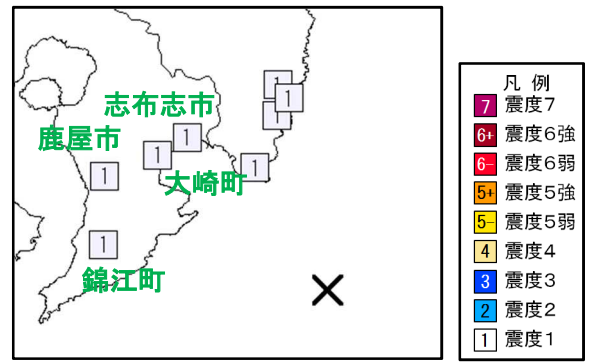


左図矩形領域内の地震活動経過図

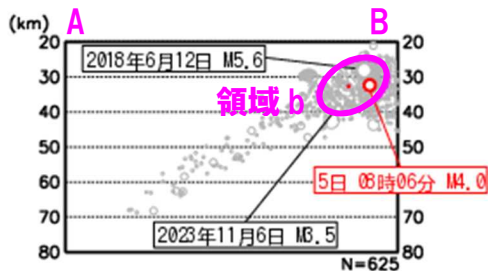
大隅半島東方沖

5日08時06分に発生した M4.0の地震（深さ32km）により、鹿屋市、志布志市、大崎町、錦江町、宮崎県の日南市と串間市で震度1を観測しました。

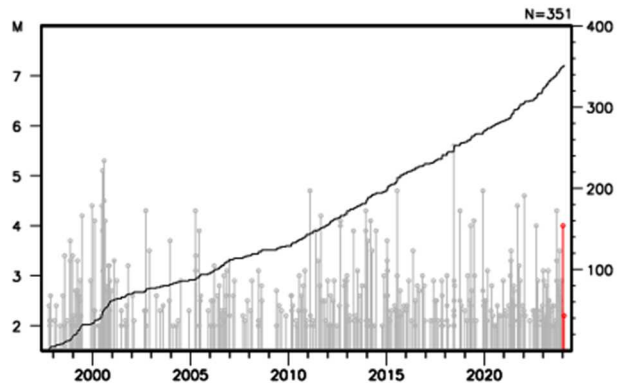
この地震の震源付近（断面図領域 b）は、日頃から地震活動が見られる領域で、2023年11月6日に発生した M3.5の地震（深さ39km）により、志布志市、大崎町および錦江町で震度1を観測しています。更に過去には、2018年6月12日に発生した M5.6の地震（深さ28km）により、県内では、鹿児島市、霧島市、伊佐市などで震度3を観測しています。



震央分布図 (1997年10月1日~2024年1月31日、深さ20~80km、M2.0以上) 赤色は2024年1月に発生した地震



震央分布図領域 a 内の断面図



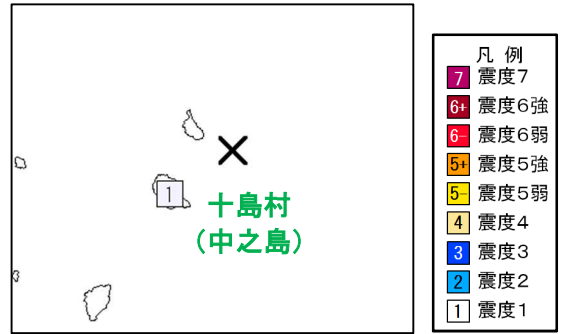
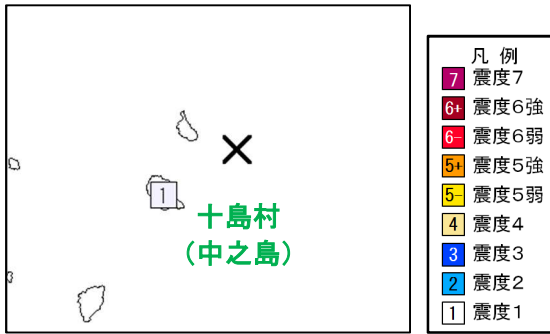
断面図領域 b 内の地震活動経過図および回数積算図

トカラ列島近海

【口之島・中之島付近】

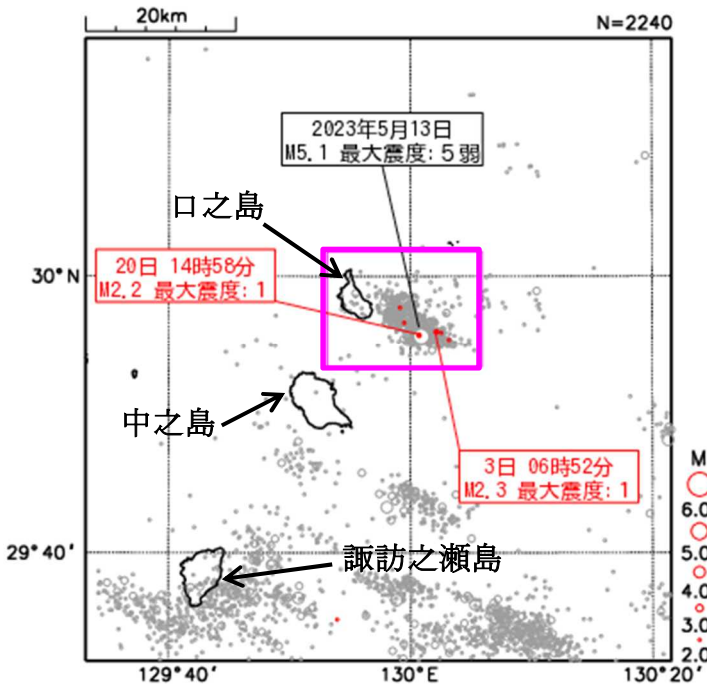
3日06時52分に発生した M2.3の地震と20日14時58分に発生した M2.2の地震により、共に十島村(中之島)で震度1を観測しました。

これらの地震の震央付近(震央分布図矩形領域)は、2023年4月1日頃からややまとまった地震活動があり、5月11日以降、地震活動が活発となりました。6月中旬頃から発生する地震の規模が徐々に小さくなり、地震の発生数も減少していましたが、11月7日頃から11月下旬にかけて地震活動がやや活発になりました。なお、2023年の4月以降の地震活動で最大規模の地震は、5月13日に発生した M5.1の地震で、十島村(中之島)で震度5弱を観測しています。

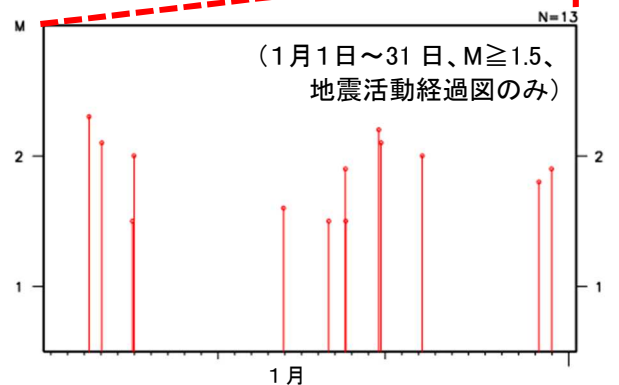
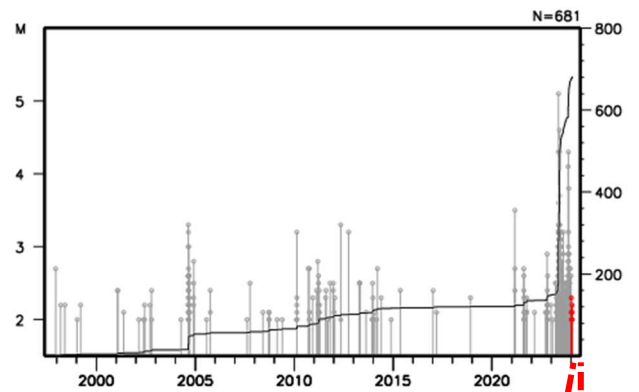


震度分布図 (観測点別、×:震央)
3日06時52分 M2.3

震度分布図 (観測点別、×:震央)
20日14時58分 M2.2



震央分布図
(1997年10月1日~2024年1月31日、深さ0~30km、M2.0以上)
赤色は2024年1月に発生した地震

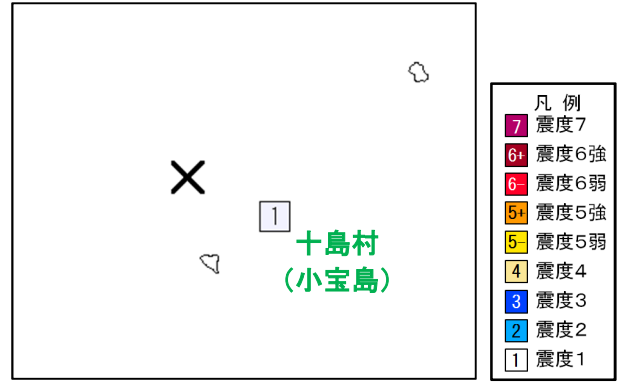


左図矩形領域内の地震活動経過図
および回数積算図

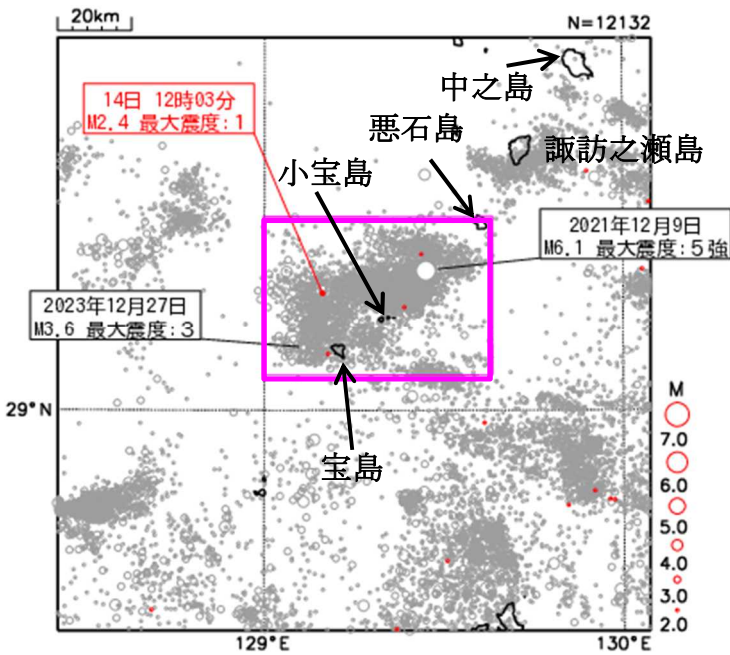
【小宝島付近】

14日12時03分に発生した M2.4の地震により、十島村（小宝島）で震度1を観測しました。

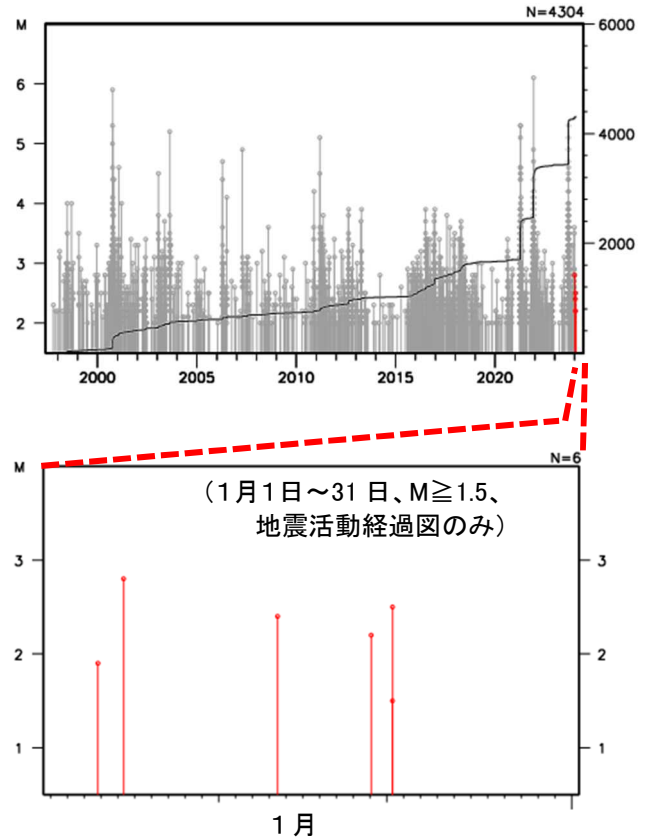
この地震の震央付近（震央分布図矩形領域）は、時々まとまった地震活動があり、2023年12月27日に発生した M3.6の地震により、十島村（宝島）で震度3を観測しています。更に過去には、2021年12月9日に発生した M6.1の地震で、十島村（悪石島）で震度5強を観測し、十島村（悪石島）でがけ崩れなどの被害が生じています（被害は鹿児島県による）。



震度分布図 (観測点別、×:震央) 14日12時03分 M2.4



震央分布図 (1997年10月1日~2024年1月31日、深さ0~50km、M2.0以上) 赤色は2024年1月に発生した地震

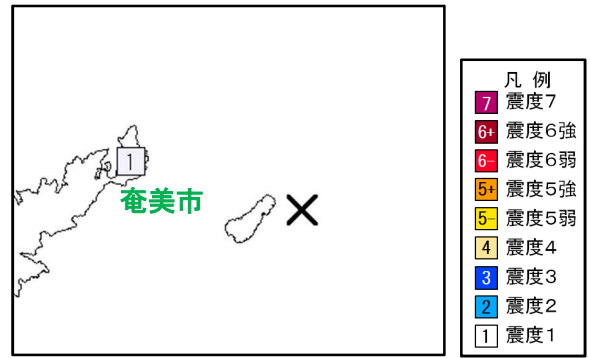


左図矩形領域内の地震活動経過図および回数積算図

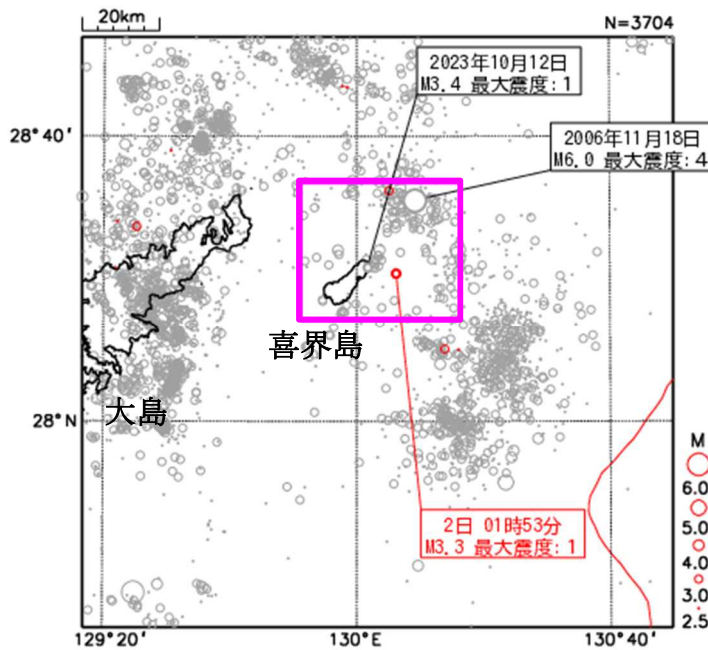
奄美大島近海

2日01時53分に発生した M3.3の地震により、奄美市で震度1を観測しました。

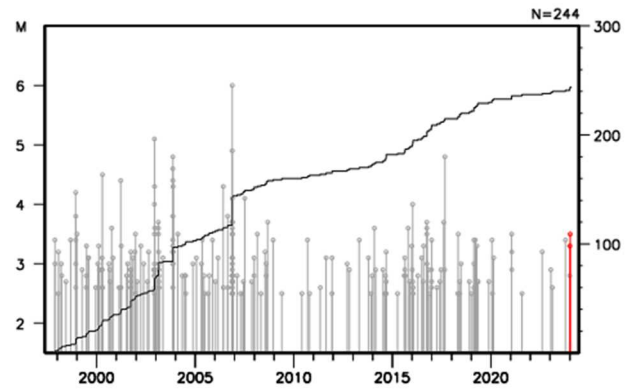
この地震の震央付近（震央分布図矩形領域）は、時々まとまった地震活動が見られる領域で、2023年10月12日に発生した M3.4の地震により、喜界町で震度1を観測しています。更に過去には、2006年11月18日に発生した M6.0の地震により、奄美市と喜界町で震度4を観測しています。



震度分布図 (観測点別、×:震央)
2日01時53分 M3.3



震央分布図
(1997年10月1日~2024年1月31日、
深さ0~50km、M2.5以上)
赤色は2024年1月に発生した地震

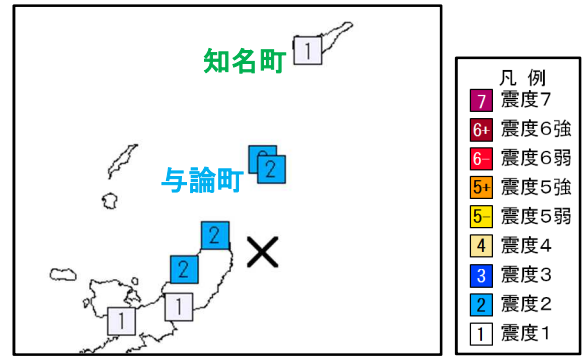


震央分布図矩形領域内の地震活動経過図
および回数積算図

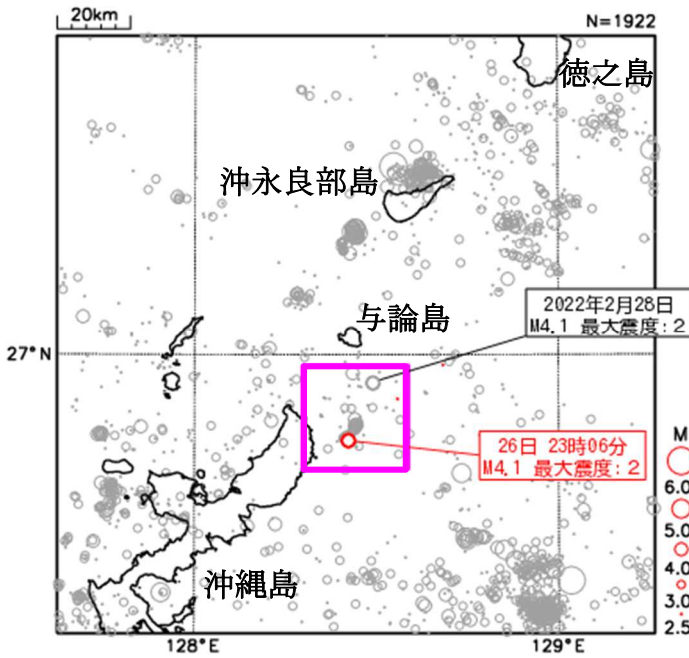
沖縄本島近海

26日23時06分に発生した M4.1の地震により、与論町、沖縄県国頭村で震度2を観測したほか、知名町、沖縄県の名護市と東村で震度1を観測しました。

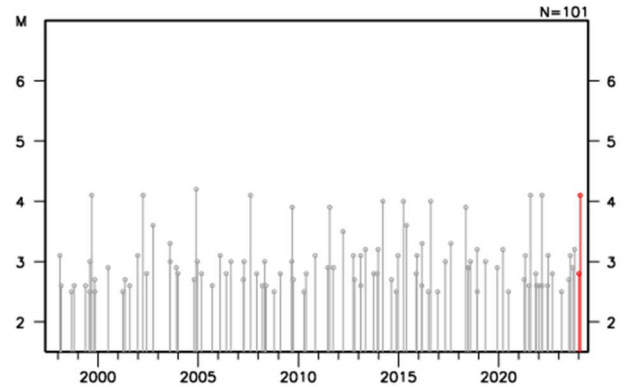
この地震の震央付近（震央分布図矩形領域）は、M4.0以上の地震が時々見られる領域で、2022年2月28日に発生した M4.1の地震（最大震度2）により、県内では、知名町と与論町で震度1を観測しています。



震度分布図 (観測点別、×:震央) 26日23時06分 M4.1



震央分布図 (1997年10月1日~2024年1月31日、深さ0~50km、M2.5以上) 赤色は2024年1月に発生した地震



震央分布図矩形領域内の地震活動経過図

鹿児島県内で震度1以上を観測した地震の表 (2024年1月1日~31日)

震源時 (年月日時分) 各地の震度	震央地名	緯度	経度	深さ	マグニ チュード
2024年01月01日16時10分 (注) 2024年01月01日16時10分 (注) 2024年01月01日16時10分 震度 2 : 鹿児島市桜島赤水新島* 震度 1 : 鹿児島空港	石川県能登地方 石川県能登地方 能登半島沖	37° 29.7' N 37° 30.4' N 37° 31.0' N	137° 16.2' E 137° 13.8' E 137° 14.4' E	16km 10km 10km	M7.6 M5.9 M---
2024年01月02日01時53分 震度 1 : 奄美市笠利町里*	奄美大島近海	28° 20.8' N	130° 06.2' E	45km	M3.3
2024年01月03日06時52分 震度 1 : 鹿児島十島村中之島徳之尾	トカラ列島近海	29° 56.0' N	130° 02.1' E	10km	M2.3
2024年01月05日08時06分 震度 1 : 鹿屋市新栄町, 大崎町仮宿*, 錦江町田代支所*, 志布志市志布志町志布志	大隅半島東方沖	31° 04.9' N	131° 31.3' E	32km	M4.0
2024年01月11日21時24分 震度 2 : 長島町鷹巣*, 長島町指江*, 長島町伊唐島* 震度 1 : 阿久根市鶴見町*, 鹿児島出水市野田町*, 長島町獅子島*, 薩摩川内市上甕町*	天草灘	32° 08.2' N	130° 03.7' E	10km	M3.4
2024年01月11日21時25分 震度 1 : 長島町鷹巣*, 長島町指江*	天草灘	32° 08.1' N	130° 03.6' E	9km	M2.8
2024年01月11日21時43分 震度 1 : 長島町鷹巣*, 長島町指江*	天草灘	32° 08.3' N	130° 03.8' E	9km	M2.7
2024年01月14日12時03分 震度 1 : 鹿児島十島村小宝島*	トカラ列島近海	29° 17.2' N	129° 09.7' E	12km	M2.4
2024年01月15日09時14分 震度 1 : 南さつま市大浦町*, 南さつま市笠沙町片浦*	薩摩半島西方沖	31° 27.1' N	130° 06.8' E	4km	M2.8
2024年01月20日14時58分 震度 1 : 鹿児島十島村中之島徳之尾	トカラ列島近海	29° 55.7' N	130° 00.7' E	10km	M2.2
2024年01月26日23時06分 震度 2 : 与論町麦屋, 与論町茶花* 震度 1 : 知名町瀬利覚	沖縄本島近海	26° 47.2' N	128° 25.3' E	31km	M4.1

- ・「*」の付いた地点は、鹿児島県または国立研究開発法人防災科学技術研究所の観測点です。
- ・地震の震源要素 (緯度・経度・深さ・M) は暫定値であり、データは後日変更することがあります。
- ・(注)を付した地震については、近接した場所でほぼ同時に発生した地震であるため、観測された震度がどの地震によるものか特定できませんでした。また、-は値が決定できないことを示します。

気象庁 機動調査班(JMA-MOT)について

気象庁では、自然災害（地震・津波によるものを含む）が発生した場合、被災地周辺の状況や観測施設の被害状況を確認する事を目的とした職員派遣を実施しています。これらの調査活動には地域住民の方や関係者の方のご理解とご協力が不可欠であることから、気象庁としての職員派遣であることの認知とご理解を得るため、「気象庁 機動調査班（JMA-MOT^{※1}）」という統一した名称を用いて活動することとしています。

JMA-MOT として派遣された職員は専用ベスト（図1）を着用して調査を行います。地震や津波により顕著な被害が発生した場合は、震度観測点や観測施設（検潮所等）が受けた被害状況の調査や、震度観測点周辺での揺れや被害の状況の確認、検潮所周辺での津波の痕跡の確認等を行います（図2）。地震活動等の状況を把握するために地震計等の観測機器を設置して機動観測を行うこともあります。また、必要に応じて現地での報道機関等からの取材にも対応します。

気象庁が JMA-MOT を派遣する際には、事前に地元の地方公共団体にお知らせした上で、派遣決定後速やかに周知・公表を行います。また、調査結果についても同様に地元の地方公共団体に報告するとともに周知・公表を行います^{※2}。

※1 Japan Meteorological Agency Mobile Observation Team

JMA-MOT の活動対象は地震・津波のほか、火山噴火、竜巻等突風、高潮・高波・副振動があります。

※2 鹿児島地方気象台の調査結果は、鹿児島地方気象台のホームページで公開するほか、九州・山口県で行われた調査結果については気象庁のホームページでも公開しています。

<鹿児島地方気象台 HP> <https://www.data.jma.go.jp/kagoshima/>

<気象庁 HP> <https://www.jma.go.jp/jma/press/hodo.html>



図1 専用のベスト



図2 2021年12月9日のトカラ列島近海の地震の際のJMA-MOTの調査の様子
(震度5強を観測した十島村悪石島で実施)